

令和5年関市長選挙 立候補者アンケート

山下 清司 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々な市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、関市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

関市では尾関市政のもとで、地域委員会をはじめとする市民協働の取り組みが始まり推進されてきた。地域課題を自主的に解決する仕組みができたとともに、企業、金融機関とも連携した事業を実施することで、市民、地域、事業者が連携してまちを創り上げることができるようになった。

こうした地縁的な繋がりとは異なる志縁的な NPO 活動も、市民活動助成金制度の創設で芽生えてきたと考える。今後も、行政では対応できない多様な課題に対して NPO や地域へ大いに期待をします。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

関市では、「関市市民活動センター」や「関市市民活動助成金」などを設けてNPO等の活動推進施策を行っています。NPO等の活動をより推進していくために、団体の支援や活動費の補助、その他に活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

関市では、市民活動センター、市民活動助成金の制度を実施しており、私としても多様な課題を解決する手法として重要であると考え支援を継続します。

継続するにあたり、課題の変化の状況に対応できるような助成制度への見直しを行っていきます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

関市では、「関市協働のまちづくり指針」が制定されており、また「関市第5次総合計画後期基本計画-政策3-施策11 市民協働」では、市民協働のめざす姿などが書かれています。

関市のまちづくりの為に、関市とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用する為にお考えの施策等ありましたら、お答えください。

はい

・

いいえ

・

その他

詳細(300字以内)

「関市第5次総合計画」、「協働のまちづくり指針」などに基づく施策の実施を行います。市民の有志の方々が活動に取り組めるよう、人材の掘り起こしと育成を進めなくては、NPO活動も縮小すると懸念します。

ご協力ありがとうございました。